

β 2-Microglobulin is an appropriate reference gene for RT-PCR-based gene expression analysis of hematopoietic stem cells

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松崎, 優 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032080

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2943 号	氏 名	松崎 優
審 査 委 員 会	主 査 教 授	三谷 昌平	
論文審査の要旨 (400 字以内) 本学位論文は、定量 PCR (Polymerase Chain Reaction) を用いて正確に一細胞内の遺伝子発現量を測定するために内部標準となり得る遺伝子を検討したものである。遺伝子発現を調べる際に、通常は、多数の細胞を集めてその平均値で実験することが多いが、実際には、同一細胞株であっても、一細胞レベルで比較すると、個々の細胞で遺伝子発現が異なると考えられ、遺伝子発現量データは一定にならない。しかし、少数細胞での遺伝子発現量を検証するためには、個々の細胞での遺伝子発現量の変動が小さい遺伝子を使う必要がある。校正のために多用されている遺伝子 4 種類について単一細胞レベルで遺伝子発現を測定し、発現量が安定しているのが $\beta 2$ ミクログロブリンであることを実証した。本実験はマウス血球系幹細胞での施行であるが、同様の手法を用いて使う細胞種毎に校正用の遺伝子を選ぶことにより、単一細胞での遺伝子発現を正確に行うことが可能となる。 学位申請者は精査したデータによってプレゼンテーションを行い、研究科委員会及び主査・副査の審査に合格した。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			